～浅川町水道事業計画概要～

～基本理念～

将来にわたり安定した水の供給を目標に，水道事業の「健全経営」に努めることを基本理念とする水道計画キーワード

キーワード	現状と課題	主な施策	将来目標
水需要量	◇平成18年度の実績値 ◎給水人口：6,820人 ◎最大取水可能量：2,650m³/日 ◎1日平均給水量：1,683m³/日 ◎1日最大給水量：1,912m³/日 ◆課　題 ◎普及率アップ ◎有収率，有効率の適正化 ◎水需要量の適正な予測	◇水道の必要性と安全性のアピール ◇管路更新による有収率，有効率の向上 ◇各種データの把握・解析 ◇水需要予測の見直し（基本計画見直等）	◇平成40年度予測値 ○給水人口：6,000人 ○1日最大給水量：1,750m³/日 ○1日平均給水量：1,550m³/日 ○普及率：100% ○有収率：90% ○有効率：95%
安定水源の確保	◇既存水源の現状 ◎井戸の経年劣化による揚水量の低下 ◎水源が安定していない ◆課　題 ◎井戸能力の評価 ◎新規水源の調査・開発	◇井戸のリハビリテーション ◇井戸の能力調査（適正揚水量の把握） ◇新規水源の開発・調査 ◇水質監視の強化 ◇浄水処理能力の強化	◇井戸の定期的なリハビリテーションを行い，井戸の適正管理に努める。 ◇新規水源の調査・開発を行い，将来共に安定した水源の確保に努める。
水道施設の更新	◇水道施設の現状 ◎水道施設数が多い ◎主要施設が老朽化している ◆課　題 ◎水道施設の再配置 ◎施設の老朽化対策，更新	◇施設の統廃合 ◇施設の定期的更新 ◇機械・電気設備の更新 ◇太田輪浄水場の拡張	◇太田輪浄水場拡張後、施設の統廃合を行う。 ◇将来，太田輪浄水場，行人坊浄水場を中心とした配水形態を構築する。
老朽管の更新	◇管路布設状況 ◎管路全体の17%が石綿管，74%が塩ビ管 ◎20年後の老朽管の残存率が30% ◆課　題 ◎老朽管の更新（石綿管，塩ビ管） ◎財源の手当 ◎コスト縮減	◇石綿セメント管の更新計画・実施 ◇老朽塩ビ管の更新計画・実施 ◇下水道事業との共同埋設 ◇耐震管路の採用	◇平成40年度の老朽管残存率を15%以内を目標とする。 ◇主要管路は，耐震管に更新する。 ◇下水道事業との共同埋設により，コストの縮減に努める。
経営基盤の強化	◇経営の状況 ◎供給単価160円/m³（県内平均203円/m³） ◆課　題 ◎水道料金の適正化 ◎事業の計画的な実施，資金調達 ◎技術の継承，人員配置	◇料金の改定 ◇施設の効率化によるコスト縮減 ◇技術継承，適正人員の配置 ◇アウトソーシングの追求	◇健全経営に努めるために，適正な水道料金のもと，健全な財政状態を保つ。 ◇健全な水道事業継続のため，人的資源の確保に努める。 ◇官民一体となって水道事業の維持に努める。